

活動報告

団体名	ふくおかNPOセンター
活動名	福岡県南部の被災地におけるスピーディな復旧のための情報共有活動
活動期間	2020/07/07~2020/08/06
活動の成果	<p>●コロナ禍での支援に際し、制約がある中での創意工夫 コロナ禍の下での支援活動となったため「非接触」を原則に、かつ被災地外のエリアの関係者に向けた呼びかけを控え地元周辺の関係者で完結することを念頭に置いた。オンライン会議ツールを活用したためこれまでの対面型の情報共有会議とは異なりエリアを超えて多様なセクターから多くの参加者を得ることができた</p> <p>●被災地における自助のノウハウ共有および共助体制の強化 久留米市では災害対応の経験を重ねているため備えのノウハウやしくみが根付いてきた。また大牟田市でも平時の地域福祉活動が盛んである地域特性が手伝って被災間もない時点から市役所も含め個人・団体等多様な属性の関係者が一致団結し支援活動や物資のマッチングが進められた。情報共有会議ではリアルタイムでのニーズ・要望事項を出し合っては対応する流れを取っているが、上がってくるニーズ・要望事項に対し、現地や近隣の関係者で完結できる体制が構築された。</p> <p>●行政区域を超えたマルチステークホルダーでの適時での情報共有 被災地のリアルタイムの状況を逐次共有し多様な主体間で対応のあり方を協議する「情報共有会議」を開催したことで「支援を行う上で見えない情報がわかって助かった」「連携を取りやすくなった」などの声をいただいた。顔の見える関係づくりは不可欠だが発災後は各人が多忙を極めるため、定例的な会議で情報共有と関係形成を図れるこの会議手法は今後の発災時にも継続していきたい。</p> <p>総じて「コロナ禍」という要因によりこれまで行ってきた資源仲介やニーズ・課題のマッチングの為に即時的な情報共有活動に加え①市区町村単位での支援体制形成の側面支援、②多様なステークホルダー間の連携・協働による住民レベルでの自助および共助の強化、という新たな支援のフェーズに向き合うことができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私どもはこれまで、度々の災害の都度さまざまな後方支援活動が無償で行ってまいりました。現地での直接的な支援活動ではないコーディネーションを主とする災害支援活動に対し今回初めてボラサポの助成金をお預かりし、裏方的な取り組みについても資金面で応援いただけることに大変ありがたくかつ心強く感じました。気候変動もあいまって今後も災害は各地で発生するものと思われます。寄付者の皆様におかれましては、今後も災害時の動きを注視いただくとともに、「支援者のための支援」をタイムリーかつ効果的に応援していただける「ボラサポ」を通じ被災地・被災者へ支援いただければ幸いです。</p>

(活動のようす)

